

「動くノートパソコン」 ER1 プレビュー

はが よしのり
芳賀 義典 (株式会社バンダイ)

Evolution Robotics社からこの度発売(米国)になった「動くノートパソコン」ER1K(写真1)を、ER社のご好意でいち早く入手できたので、この誌面をお借りして簡単にご紹介しよう。ER1はロボットホビースト向けに開発されたホームロボットで、組み立てキットと完成品で提供されている。米国での価格はキットが599ドル、完成品で699ドルである。アルミフレームの本体にノートパソコン(これは製品には含まれない)を乗せた形は、今までのロボットとはかなり異なった印象を与える。ER1のイチ押しの機能は何と言っても強力な画像認識で、花瓶の花や壁に貼ったポスターなどの画像を記憶し、これをランドマークとして利用して、室内を移動することができる。その他にEメールの送受信機能や、画像の記録など、これまでこのクラスのホビーロボットが持っていなかった高度な機能を持っている。これらの機能はワンダーボグのロボットワークスのように、RCC(Robot Control Center)というソフトで簡単にプログラムできるらしい。これは結構遊べそうだ。



写真1 ER1

キット紹介

ER1のパッケージ(写真2)は白地に製品写真で初期のMachintoshのパッケージを彷彿とさせる。取っ手もついているが結構重く「お持ち帰り」は大変そうだ。パッケージをあけると中にはこれだけの部品(写真3)が入っている。写真4はRCM(Robot Control Module)と呼ばれるパソコンに接続するインターフェイスである。パソコンとはUSBで接続される。ER1ではこれに走行用のステッピングモータが接続され、パソコンからのコマンドで駆動できるようだ。ステッピングモータのコネクタのほかにアナログとデジタルのI/Oコネクタらしきもの(写真4左側25Pコネクタ)も見えるが、このキットでは何も接続されない。写真5はバッテリーを内蔵したパワーモジュールだ。ER1はこのバッテリーで3時間連続走行できるそうである。このようにER1の機能モジュールは頑丈なアルミのケースに入っていて、いかにもアメリカ的な武骨さを感じる。



写真2 ER1のパッケージ



写真3 ER2の部品



写真4 RCM



写真5 パワーモジュール